【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成20年5月15日(2008.5.15)

【公表番号】特表2005-516564(P2005-516564A)
【公表日】平成17年6月2日(2005.6.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-021
【出願番号】特願2003-565187(P2003-565187)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｍ　1/26　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　3/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
Ｈ０４Ｑ　7/38　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｍ　1/26
Ｈ０４Ｍ　3/00　Ｂ
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０３
Ｈ０４Ｂ　7/26　１０９Ｑ
Ｈ０４Ｑ　7/04　Ｄ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成20年3月25日(2008.3.25)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】全文
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電話番号を間接的にダイヤルする方法であって、
電話加入者に割り当てられた英数字識別子を取得することと、
前記識別子を、前記電話加入者の宛先電話番号に関連付けることによって、これらのマッピングを生成することと、
ルックアップテーブル内に前記マッピングを格納することと、
発信元電話を使って前記識別子をダイヤルすることと、
前記格納されたマッピングから前記宛先電話番号を復元するために、前記識別子を前記ルックアップテーブルに対するポインタとして使用することと、
前記宛先電話番号を経由して、前記発信元電話と宛先電話との間の接続を確立することとを備え、
前記識別子は、識別子プレフィックスと識別子ストリングとを含み、前記識別子プレフィックスは、前記識別子ストリングの種類を分類する方法。
【請求項２】
請求項１に記載の方法において、
前記発信元電話と前記宛先電話とはそれぞれ、移動電話、陸線電話、及びファクシミリマシンを含むデバイスグループから選択された通信デバイスを備えた方法。
【請求項３】
請求項１に記載の方法において、
前記宛先電話番号は、業界標準フォーマットでフォーマットされた第１のストリングを含み、前記識別子は、前記業界標準フォーマットとは別の方法でフォーマットされた第２のストリングを含んだ方法。

【請求項４】
請求項１に記載の方法において、
前記識別子ストリングは、この種類に関連付けられ前記電話加入者とは独立しているエンティティによって割り当てられた方法。
【請求項５】
請求項４に記載の方法において、
前記エンティティは、前記識別子ストリングを割り当てることを許可された公的団体を含む方法。
【請求項６】
請求項４に記載の方法において、
前記エンティティは、クレジットカード会社を含み、前記識別子ストリングは、クレジットカード番号を含む方法。
【請求項７】
請求項１に記載の方法において、
前記識別子は、この識別子が業界標準の電話番号ではないことと、この方法が実施されるべきであることとの通知として機能する識別子プレフィックスを含む方法。
【請求項８】
請求項１に記載の方法において、
前記発信元電話は、第１の通信ネットワーク内で動作可能であり、前記宛先電話は、第２の通信ネットワーク内で動作可能である方法。
【請求項９】
請求項１に記載の方法において、
前記英数字識別子は、前記電話加入者の識別子として機能するストリングを含む方法。
【請求項１０】
請求項１に記載の方法において、
前記英数字識別子は、前記電話加入者に関連付けられた対象の識別子として機能するストリングを含む方法。
【請求項１１】
請求項１に記載の方法において、
前記識別子はカーライセンス番号を含み、前記識別子をダイヤルすることは、カーライセンスプレートのイメージを生成することと、前記イメージから前記カーライセンス番号を復元する方法。
【請求項１２】
電話番号を間接的にダイヤルする装置であって、
メモリと、通信サーバとを備え、
前記メモリは、電話加入者に割り当てられた英数字識別子を、宛先電話番号に関連付けているマッピングを含むルックアップテーブルを格納し、
前記識別子は識別子プレフィックスと識別子ストリングとを含み、前記識別子プレフィックスは、前記識別子ストリングの種類を分類し、
前記通信サーバは、
発信元電話からのダイヤルされた入力として前記識別子を取得し、
これに応答して前記ルックアップテーブルにアクセスし、
前記識別子を前記ルックアップテーブルに対するポインタとして使用することによって、前記宛先電話番号を復元し、
前記宛先電話番号を通信ネットワークに与え、
これによって、前記ネットワークが、前記宛先電話番号を経由して、前記発信元電話と、宛先電話との間の接続を確立できるようにした装置。
【請求項１３】
請求項１２に記載の装置において、
前記発信元電話と前記宛先電話とはそれぞれ、移動電話、陸線電話、及びファクシミリ

マシンを含むデバイスグループから選択された通信デバイスを備えた装置。
【請求項１４】
請求項１２に記載の装置において、
前記宛先電話番号は、業界標準フォーマットでフォーマットされた第１の数値ストリングを含み、前記識別子は、前記業界標準フォーマットとは別の方法でフォーマットされた第２の数値ストリングを含んだ装置。
【請求項１５】
請求項１２に記載の装置において、
前記識別子ストリングは、前記電話加入者とは独立しておりこの種類に関連付けられたエンティティによって割り当てられた装置。
【請求項１６】
請求項１５に記載の装置において、
前記エンティティは、前記識別子ストリングを割り当てることを許可された公的団体を含む装置。
【請求項１７】
請求項１５に記載の装置において、
前記エンティティは、クレジットカード会社を含み、前記識別子ストリングは、クレジットカード番号を含む装置。
【請求項１８】
請求項１２に記載の装置において、
前記識別子は、この識別子が業界標準の電話番号ではないことと、この方法が実施されるべきであることとの通知として機能する識別子プレフィックスを含む装置。
【請求項１９】
請求項１２に記載の装置において、
前記通信ネットワークは、前記発信元電話が動作可能な第１の通信ネットワークを含み、前記宛先電話は、前記第１の通信ネットワークに接続された第２の通信ネットワーク内で動作可能である装置。
【請求項２０】
請求項１２に記載の装置において、
前記識別子は、前記電話加入者の識別として機能する数値ストリングを含む装置。
【請求項２１】
請求項１２に記載の装置において、
前記識別子は、前記電話加入者に関連付けられた対象の識別子として機能する数値ストリングを含む装置。
【請求項２２】
請求項１２に記載の装置において、
前記識別子はカーライセンス番号を含んでおり更に、カーライセンスプレートのイメージを生成し、前記イメージから前記カーライセンス番号を復元し、前記カーライセンス番号を前記通信サーバに送るように適用されたイメージングシステムを備えた装置。
【請求項２３】
電話番号を間接的にダイヤルする方法であって、
第１の電話加入者及び第２の電話加入者に割り当てられた英数字識別子をそれぞれ取得することと、
前記識別子と、前記第１の電話加入者の第１の宛先電話番号との関連付けを行い、これらの間の第１のマッピングを形成することと、
前記識別子と、前記第２の電話加入者の第２の宛先電話番号との関連付けを行い、これらの間の第２のマッピングを形成することと、
ルックアップテーブル内に前記第１及び第２のマッピングを格納することと、
発信元電話を使って前記識別子をダイヤルすることと、
前記格納されたマッピングから前記第１及び第２の宛先電話番号を取り戻すことができ

るように、前記識別子を、前記ルックアップテーブルに対するポインタとして使用することと、
前記第１及び第２の宛先電話番号のうちの一つを、望ましい宛先電話番号として選択することと、
前記望ましい宛先電話番号を経由して、前記発信元電話と、望ましい宛先電話との間の接続を確立することとを備えた方法。
【請求項２４】
請求項２３に記載の方法において、
前記第１及び第２の宛先電話番号のうちの一つを選択することは、前記電話番号から選択するために、呼出人に対して、識別子をダイヤルするよう要求することを含む方法。
【請求項２５】
電話番号を間接的にダイヤルする装置であって、
メモリと、通信サーバとを備えており、
前記メモリは、第１の電話加入者に割り当てられた英数字識別子を、第１の宛先電話番号に関連付けている第１のマッピングと、第２の電話加入者に割り当てられた英数字識別子を、第２の宛先電話番号に関連付けている第２のマッピングとを含むルックアップテーブルを格納し、
前記通信サーバは、
発信元電話からのダイヤルされた入力として前記識別子を取得し、
これに応答して前記ルックアップテーブルにアクセスし、
前記識別子を前記ルックアップテーブルに対するポインタとして使用することによって、前記第１及び第２の宛先電話番号を復元し、
前記第１及び第２の宛先電話番号から望ましい宛先電話番号を選択するために、呼出人に対して、前記識別子をダイヤルするように要求し、
この選択に応答して、前記望ましい宛先電話番号を通信ネットワークに提供し、
これによって、前記ネットワークが、前記望ましい宛先電話番号を経由して、前記発信元電話と、宛先電話との間の接続を確立できるように適用されている装置。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２３】
その代わりに、あるいはそれに加えて、英数字識別子は、電話加入者に関連付けられた対象を識別するために機能するストリングを含む。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３４
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３４】
その代わりに、あるいはそれに加えて、識別子は、電話加入者に関連した対象を識別するために機能する数値ストリングを含む。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３６】
本発明の好適な実施例によれば、更に間接的に電話番号をダイヤルする方法が提供され

ている。この方法は、第１の電話加入者及び第２の電話加入者に割り当てられた英数字識別子をそれぞれ取得することと、この識別子と、第１の電話加入者の第１の宛先電話番号との関連付けを行い、これらの間の第１のマッピングを形成することと、この識別子と、第２の電話加入者の第２の宛先電話番号との関連付けを行い、これらの間の第２のマッピングを形成することと、ルックアップテーブル内に第１及び第２のマッピングを格納することと、発信元電話を使ってこの識別子をダイヤルすることと、前記格納されたマッピングから第１及び第２の宛先電話番号を取り戻すことができるように、前記識別子を、前記ルックアップテーブルに対するポインタとして使用することと、第１及び第２の宛先電話番号のうちの一つを、望ましい宛先電話番号として選択することと、前記望ましい宛先電話番号を経由して、前記発信元電話と、望ましい宛先電話との間の接続を確立することとを備えている。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００４１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００４１】

好適には、宛先デバイスのユーザ１６は、ネットワーク２８のオペレータに、ユーザの識別子１８と宛先電話番号との間のマッピングを知らせる。あるいは、オペレータは、ユーザの識別子１８と宛先電話番号との両方を知っているユーザ１６以外の人間によってマッピングが通知される。識別子１８は、ユーザ１６に関連した任意の英数字ストリングを含みうる。例えば、ストリングは、ユーザによって運転される車のライセンス番号、ユーザの社会保険番号、ユーザのパスポート番号、ユーザに登録されたクレジットカードの番号、あるいはユーザ１６を識別するために使用されるあらゆる種類の番号を含む。最も好適には、英数字ストリングは、ユーザとは独立しており、ストリングを発行することが認められたエンティティによってユーザ１６に割り当てられる。例えば、エンティティは、ストリングをカーライセンス番号として発行することが認められた車両認可局、又は社会保険番号を発行することが認められた社会サービス局のような公式団体でありうる。あるいは、エンティティは、クレジットカード番号を発行することができるクレジットカード会社であるかもしれない。番号の種類を発行することが許可された及び／又は許可することができる他のエンティティは、当該技術における熟練者には身近であろう。一般に、各ストリング種類は、対応する対象に関連している。例えばライセンス番号は、対応するライセンスプレートと関連しており、パスポート番号は、対応するパスポートと関連している。ライセンス番号、パスポート番号、及び識別子１８として使用される他のストリングは、文字を含みうることが認められよう。